【企業年金におけるアセットオーナーとしての取り組み】

当社では、企業年金の年金資産の運用において、受益者への年金給付を確実に行うために、確定給付企業年金規約、年金資産の運用に関する基本方針および運用ガイドラインに基づき、中長期的観点からリスクを勘案し、必要とされる総合収益を確保することを目的に運用しています。

年金資産の運用については、人事部門が主管し、複数の運用機関を選定のうえ、定期的に運用実績や運用方針について総合的にモニタリング・評価を実施し、また、運用に係る役職員においては、実務や研修等を通じて資質向上に努め、適切な資質を持った人材の計画的な登用、配置に取り組んでいます。各運用機関の個別の投資先選定や議決権行使については、運用機関の判断基準に従っており、当社と企業年金の受益者との間での利益相反が生じないよう適切に管理しています。